

## <理念>

- ① 「不思議でなければマジックではない」  
を原点に、技能の研鑽に努める
- ② 「再び学んで他のために」の校是を旨とし、  
ボランティア精神を持って社会貢献に資する
- ③ 「奇術は喜術なり」。自分も楽しみ、他の人々を  
楽しませるエンターティメントを心がける

## 目次

● <KSCマジック理念>		
発刊にあたって	森田明朝	1
お祝いの言葉	空閑義郎	1
● <創部期>		2
● <マジックの祭典>		5
● <随想 マジックと私 I>		12
● <ボランティア活動>	OB/OG 在校生	20
● <座談会20年を語る>		24
● <随想 マジックと私 II>		29
● <クラブ行事>		37
● <メディア記事>		38
● <編集後記>		41
● <付表>		
付表1 ボランティア活動年次実績		
付表2 平成11年度、平成29年度会員名簿		
付表3 歴代役員名簿		

## 発刊にあたって

奇術は「喜術」なり



KSCマジッククラブ会長  
8期 国際 森田 明朝

今日ここにKSCマジッククラブ20年の歩みを発刊することが出来ました。会員皆様の熱意と20年委員会の役員各位の力添えを頂きささやかながら小史にまとめることができました。厚く御礼申し上げます。有難うございました。

20年前、空閑先生、山根さん他数名の皆さんで「面白いやろうやないか」とはじめられたマジックの集まりが年月を重ね、OB・OG70名、在校生合わせて100名の大所帯となりました。

成果発表の場としてスタートした「マジックの祭典」も15回目を迎えました。親睦の秋の1泊研修会も11回を数え、今年は特別企画として淡路島「ゆうなぎ荘」にて40名の盛大な宴会となりました。オークションも盛り上がりました。これはひとえにマジックに魅せられた皆さんと空閑先生が手作りで新しい材料を提供され、マジックの楽しさを教導された努力・熱意の成果と感謝と御礼を申し述べる次第です。

私は常に申します「奇術は喜術なり」不思議を覚えた喜び、人に見て頂く喜び、見て喜んで頂く喜び。しかし、一番大切なのは「不思議さ」です。これがあってこそその喜び、楽しさです。高齢になると、特に教育と教養が大切です。教育とは「今日行くところ」、教養とは「今日用事があること」です。いずれも元気の秘訣です。この元気を支えるのがマジッククラブ例会のレクチャーであり、ボランティア活動だと思っています。次の20年に向けてKSCの発展とクラブの隆昌と各位のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

## お祝いの言葉

マジックとの出会い



講師  
3期 福祉 空閑 義郎

私がシルバーカレッジに入学した翌年の平成9年の冬のことでした。当時私は「うまいもんクラブ」に入っていました。その懇親会のとき余興で簡単なマジックを披露し好評でした。宴会が終わった後、「マジックを教えてください」という声が数人の方から出ました。「いや」とは言えなかったので「10人集まったら教えましょう」とその場は逃げました。

2年生になった新学期に「マジッククラブ部員募集」というポスターを掲示したところ、10人を超える人数が集まりました。このようにして「シルバーカレッジマジッククラブ」が発足したのが平成9年4月のことでした。

初めマジックの技術を習得するのが精一杯で、外部からのボランティアの依頼があっても人前でマジックをするのが恥ずかしいと尻込みしていました。2～3年たった頃人前でマジックをするということも時々あり、第1回マジックの祭典をした頃から積極的にボランティア活動をするようになりました。今では現役・OB100回を超えるようになりました。マジッククラブが誕生して20年になりました。アッという間の20年といっても過言ではありません。感謝の気持ちで一杯です。これもマジッククラブのメンバーの努力の賜物と思っています。またそのメンバーをまとめて歴代の代表や役員の方々のお陰と思っています。特にこの20周年を迎えて色々な企画をしていただいた森田会長以下スタッフの皆様ありがとうございます。御座いました。